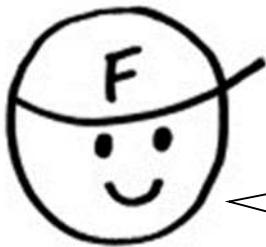
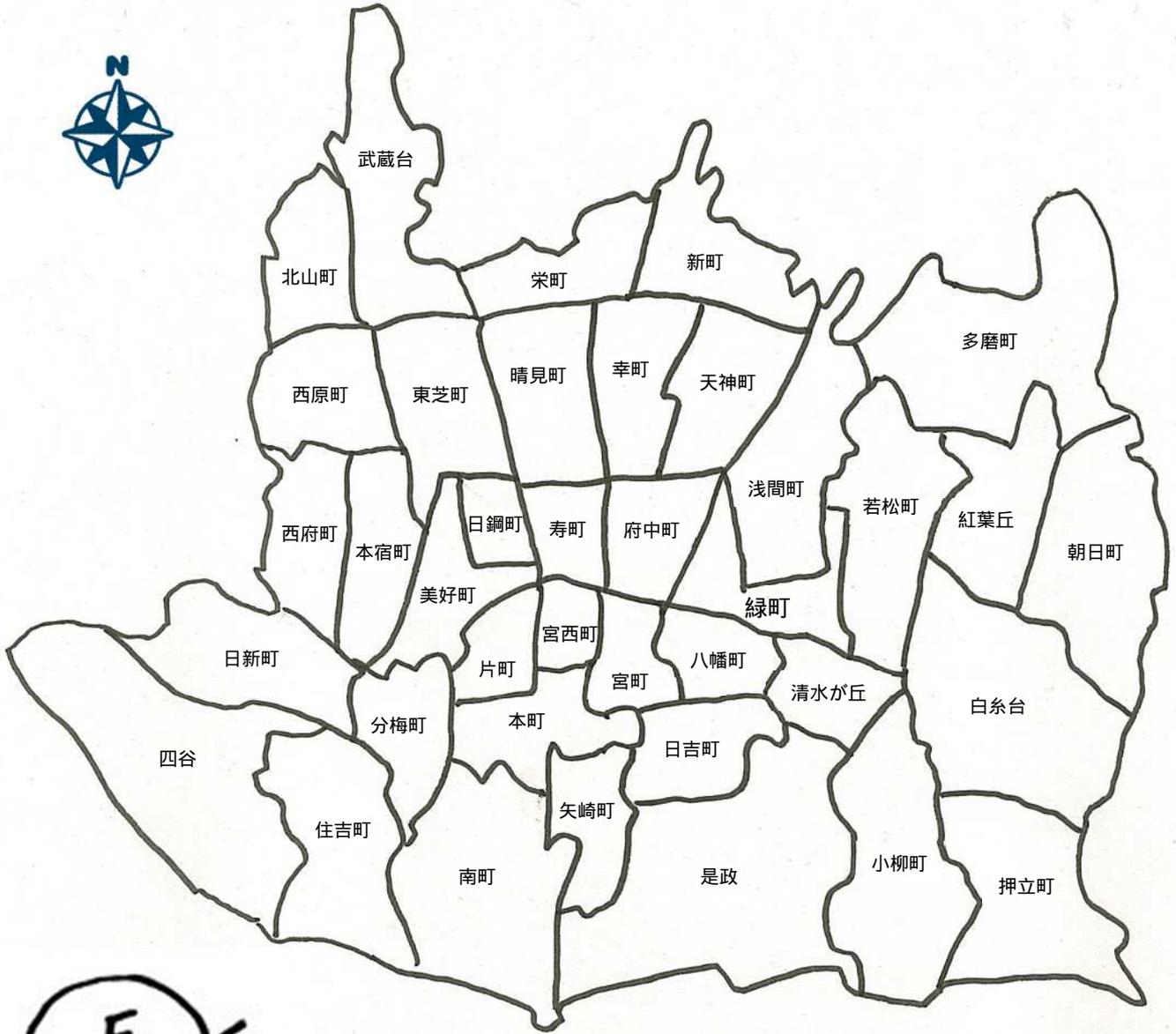


ふ ちゅう まちしょうかい
府中の町紹介



これは府中市^{ちず}の地図だね！
いくつかの町^{まち}があるのかな？

では、一緒に調べてみようね。^{いっしょ しら}



もくじ

てんじんちよう 天神町 ... 2 ㇰ-ジ	みよしちよう 美好町 ... 6 ㇰ-ジ	せんげんちよう 浅間町 ... 8 ㇰ-ジ	よつ や 四谷 ... 12 ㇰ-ジ
さいわいちよう 幸町 ... 2 ㇰ-ジ	ひよしちよう 日吉町 ... 6 ㇰ-ジ	これまさ 是政 ... 9 ㇰ-ジ	にっしんちよう 日新町 ... 12 ㇰ-ジ
ことぶきちよう 寿町 ... 2 ㇰ-ジ	かたまち 片町 ... 6 ㇰ-ジ	おしたてちよう 押立町 ... 9 ㇰ-ジ	きたやまちよう 北山町 ... 13 ㇰ-ジ
しみず おか 清水が丘 ... 3 ㇰ-ジ	ほんまち 本町 ... 7 ㇰ-ジ	あさひ ちよう 朝日町 ... 9 ㇰ-ジ	にしはらちよう 西原町 ... 13 ㇰ-ジ
みやにしちよう 宮西町 ... 3 ㇰ-ジ	むさしだい 武蔵台 ... 7 ㇰ-ジ	た まちよう 多磨町 ... 10 ㇰ-ジ	にしふ ちよう 西府町 ... 13 ㇰ-ジ
しんまち 新町 ... 4 ㇰ-ジ	とうしばちよう 東芝町 ... 7 ㇰ-ジ	もみじがおか 紅葉丘 ... 10 ㇰ-ジ	ほんしゆくちよう 本宿町 ... 14 ㇰ-ジ
みやまち 宮町 ... 4 ㇰ-ジ	ふ ばいちよう 分梅町 ... 7 ㇰ-ジ	こ やなぎちよう 小柳町 ... 10 ㇰ-ジ	ふちゆうちよう 府中町 ... 14 ㇰ-ジ
はる み ちよう 晴見町 ... 4 ㇰ-ジ	や ざきちよう 矢崎町 ... 8 ㇰ-ジ	わかまつちよう 若松町 ... 11 ㇰ-ジ	みどりちよう 緑町 ... 14 ㇰ-ジ
はちまんちよう 八幡町 ... 5 ㇰ-ジ	みなみちよう 南町 ... 8 ㇰ-ジ	しらいとだい 白糸台 ... 11 ㇰ-ジ	
さかえちよう 栄町 ... 5 ㇰ-ジ	につこうちよう 日鋼町 ... 8 ㇰ-ジ	すみよしちよう 住吉町 ... 12 ㇰ-ジ	

まち じゅんばん
町ができた 順番になっているよ！

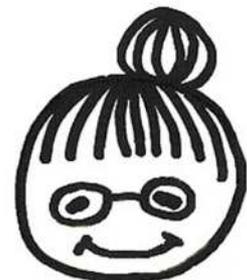


<府中市>・・・昭和29(1954)年4月1日生まれ

大化元(645)年に始まった大化の改新以降、全国に60くらいの国が生まれ、武蔵国ができました。府中市は武蔵国の国府(役所)が置かれ、政治・経済・文化の中心という意味で「府中」と呼ばれるようになったといわれています。鎌倉時代の終わりには合戦(戦い)の舞台になり、江戸時代には現在の旧甲州街道に沿って宿場が作られてにぎわいました。

府中市は府中町、多磨村、西府村が一つになって誕生しました。今もケヤキ並木や大國魂神社などの自然と歴史が残るふるさとのまちとして、発展を続けています。

ひろしまけん
広島県にも「府中市」という市がありますよ。



てんじんちょう しょうわ
<天神町>・・・昭和34(1959)年5月1日生まれ

さいわいちょう いちばんはじめ げんざい ちょうめい かいせい
幸町とともに、一番初めに現在の町名に改正されました。

むかし、この辺りは窪んだ土地で、蛇がたくさんいたようです。

だいじゃ す でんせつ
大蛇が住んでいたという伝説もあります。



さいわいちょう しょうわ
<幸町>・・・昭和34(1959)年5月1日生まれ

てんじんちょう にしがわ まち ば ば だいもん なみき
天神町の西側にある町です。馬場大門のケヤキ並木の

きた ば ば さき よ とち
北にあるので「馬場先」と呼ばれていた土地があります。

とうきょうのうこうだいがくのうがく ぶ
3丁目には、東京農工大学農学部があります。



とうきょうのうこうだいがく
<東京農工大学>

ことぶきちょう しょうわ
<寿町>・・・昭和34(1959)年10月1日生まれ

ことぶき ちょうめい えん ぎ よ ことぶきちゅうおうこうえん いけ
「寿」という町名は、縁起の良いところからつけられました。寿中央公園のひょうたん池

では「大賀ハス」を見ることができます。

むかしのこの辺りの呼び方だった「馬場」とは、

なみき さゆう こまくらべ うま はし
ケヤキ並木の左右にあった競馬式(馬を走らせる

ぎしき おこな ばしよ なみき とく
儀式)を行った場所のことです。この並木は徳

がわいえやす き ぶ
川家康が寄付したものだといわれています。



ば ば だいもん なみき
<馬場大門のケヤキ並木>

しみず おか しょうわ
<清水が丘>・・・昭和34(1959)年10月1日生まれ

ちいき がいせん がけ すいりょう ほうふ
この地域は府中崖線(ハケ)という崖があり水量の豊富な

たき なが おおくにたまじんじや れいたいさい まえ
滝が流れていました。大國魂神社の例大祭(くらやみ祭)前

たきじんじや わ みず しんしよく こまくらべ うま
に、2丁目の瀧神社の湧き水で神職たちや競馬式に出る馬と

きしゆ きよ どうごうじ えいが らしょうもん
騎手を清めたそうです。3丁目の東郷寺には、映画『羅生門』

とうじょう もん りっば さんもん
に登場する門のモデルになったともいわれる立派な山門があり

はる さ ざくら うつく ゆうめい
ます。春に咲くしだれ桜が美しいことでも有名です。



とうごうじ さんもん
<東郷寺(山門)>

みやにしちよう しょうわ
<宮西町>・・・昭和35(1960)年5月1日生まれ

えどじだい かいどうぞ たびびと と うま の つ しゆくば ところどころ
江戸時代、街道沿いには旅人が泊まったり、馬やかごを乗り継いだりする宿場が所々にあり

しなひ げんざい きゅうこうしゅうかいどうぞ ちゅうしん しゆくば ばしよ しゆくよ
ました。市内にも現在の旧甲州街道沿いを中心に宿場となった場所があり、府中宿と呼ばれ

みやにしちよう しゆく いちぶ かいどう かわごえみち そうしゅうみち
ていました。むかし、宮西町は府中宿の一部で、府中街道(むかしの川越道・相州道あるいは

おだわらみち ぞ きゅうこうしゅうかいどう こうさてんあた ほんまち よ ひがしがわ しんしゆく にしがわ ばん
小田原道)沿いや旧甲州街道との交差点辺りは「本町」と呼ばれ、東側は「新宿」、西側が「番

ば よ
場」と呼ばれていました。



こうさつば
<高札場>

とうざい きゅうこうしゅうかいどう なんぼく かいどう
東西に旧甲州街道、南北に府中街道

まち ちゅうしん とお こうさてん
が町の中心を通過して、その交差点

こうさつば やくしよ めいれい し
には高札場(むかしの役所が命令やお知

かせなどを書いた札を張り出した場所)

のこ
が残っています。

しんまち しょうわ
<新町>・・・昭和35(1960)年5月1日生まれ

府中市の中心からまっすぐ北に行ったところにあり、国分寺市と小金井市に接して、町の中心を東八道路が東西に通っています。この辺りに町ができた頃からの呼び方がそのまま現在の町名になっています。

みやまち しょうわ
<宮町>・・・昭和35(1960)年10月1日生まれ

みやまち ちゅうしん おおくにたまじんじゃ れきし
宮町は、むかしから府中の中心になっていたところです。3丁目にある大國魂神社は、歴史のある神社で「六所宮」・「六所明神」とも呼ばれています。

4月30日から5月6日まで行われる大國魂神社の例大祭である「くらやみ祭」は、5月5日を中心にとくさんの人でにぎわいます。



おおくにたまじんじゃ
<大國魂神社>

おおくにたまじんじゃ ななふしぎ
大國魂神社には「七不思議」があるんだよ！
「こども府中はかせ1」をよんでみてね。



はるみちょう しょうわ
<晴見町>・・・昭和35(1960)年10月1日生まれ

めいじじだい はじ ころ いえ すく ちいき しょうわ ねん はるみちょうだんち げんざい
明治時代の初め頃には家が少ない地域でしたが、昭和35(1960)年の晴見町団地(現在の府中グリーンハイツなど)の建設などによって、人口が多い町になりました。なお、府中刑務所は昭和10(1935)年にできました。。

はちまんちよう しょうわ
< 八幡町 > . . . 昭和36 (1961) 年 3 月 1 日生まれ

あは はちまんしゆく なまえ むら とうきょうけいば じょう きたがわ がけ うえ
むかし、この辺りには八幡宿 という名前の村がありました。東京競馬場の北側、崖の上には

むさしこくふ はちまんぐう まち なまえ き じんじゃ と かこ
武蔵国府八幡宮があり、このことから町の名前がつけました。たくさんの木が神社を取り囲んでい

て、おごそかな雰囲気を出しています。ここは江戸時代を通して大國魂神社が管理する土地でした。



むさしこくふ はちまんぐう
< 武蔵国府八幡宮 >

むさしこくふ はちまんぐう はちまんさま おおくにたま かみさま
武蔵国府八幡宮の八幡様と大國魂の神様のはなしが、
『こども府中はかせ 1』の「境内に松の木なし」にのっているよ。



さかえちよう しょうわ
< 栄町 > . . . 昭和36 (1961) 年 3 月 1 日生まれ

あは え ど じ だい とく が わ い や す だい しょう ぐん とく が わ ひ た だ しょう ぐん
この辺りは、江戸時代に徳川家康や第2将軍・徳川秀忠らの将軍が

たか が ば しょ ふ る つか まち
鷹狩りをした場所だといわれています。古くから使われていたこの町の

よ かた ちょう めい
呼び方が町名になりました。



むさしこくぶん じ さん とう ぐち あと へい せい むさしこくぶん じ あと つけ たり とう さん とう む さ し み ち あと
3 丁目にある武蔵国分寺参道口跡は、平成17 (2005) 年に武蔵国分寺跡 附 東山道武蔵路跡

く に し せ き つ い か し て い とう さん とう む さ し み ち こう ず け の こ く げ ん ざ い ぐ ん ま け ん む さ し こ く ぶん じ こ く
として国史跡に追加指定されました。東山道武蔵路は上野国 (現在の群馬県) から武蔵国分寺 (国

ぶん じ し む さ し こ く ぶん に じ こ く ぶん じ し あ い だ と お さん とう ぐ ち こ く ぶん じ こ く
分寺市) と武蔵国分尼寺 (国分寺市) の間を、この参道口から国府 (府中市) まで続いて

いた道です。

みよしちょう しょうわ
<美好町>・・・昭和36(1961)年3月1日生まれ

うつく す まち つく おも ちょうめい あた たか
美しく住みよい町を作っいてこの町の思いからこの町名になりました。3丁目辺りはむかし高
くら よ ちいき いちぶ たかくら なまえ むさしのくに やくしょ だいじ そうこ
倉と呼ばれた地域の一部でした。「高倉」という名前は、武蔵国の役所の大事な倉庫があったこと
い み こふん たかくら こふんぐん ごうふん せいき お しなさいこ
を意味するそうです。3丁目にある古墳(「高倉古墳群28号墳」)は4世紀終わりころの市内最古
こふん かんが
の古墳だと考えられています。

ひよしちょう しょうわ
<日吉町>・・・昭和36(1961)年7月1日生まれ

まち たちかわだんきゅう かいだんじょう ちけい した かわ はこ どしゃ つ かせ
この町は、立川段丘(階段状の地形)下にあり、川によって運ばれてきた土砂などが積み重な
へい や ひよしちょう ゆらい けいばじょう きたがわ めん おか うえ
ってできた平野にあります。日吉町の由来は、競馬場の北側に面した丘の上にある日吉(ひえ・
ひよし)神社がもとになっているようです。

まち ぜんちいき し とうきょうけいばじょう しょうわ かいせつ
この町の全地域を占める東京競馬場は、昭和8(1933)年に開設しました。

かたまち しょうわ
<片町>・・・昭和36(1961)年7月1日生まれ

かたまち きゅうこうしゅうかいどう みちすじ しゆく いちぶ かたまち なまえ ゆらい かいどう
片町は旧甲州街道の道筋にあり、府中宿の一部でした。「片町」という名前の由来は、街道を
みなみがわ そうとうしゅう ゆいしよ てら こうあんじ きたがわ いえいえ た なら
はさんで南側に曹洞宗の由緒ある寺である高安寺があるため、北側にのみ家々が立ち並んでいた
ところからきているようです。

かたまち いせき しな い さいしよ はくつちようさ
また、片町1丁目の遺跡は市内で最初に発掘調査

おこな むさしこくふ かか いせき たてもの
が行われました。武蔵国府に関わる遺跡で、建物の

あと はじき すえき しゅつど
跡や土師器・須恵器などが出土しています。



こうあんじ さんもん
<高安寺(山門)>

ほんまち しょうわ
<本町>・・・昭和36(1961)年7月1日生まれ

ほんまち しゆく なか いちばんふる こくふ さか ころ ちゅうしん はってん
本町は、府中宿の中でも一番古く、国府が栄えた頃から府中の中心として発展してきました。

えどじだい ほんまちえき ひがしがわ とくがわごてん とくがわしょうぐん えど ちか がいしゅつ
江戸時代、府中本町駅の東側には徳川御殿(徳川将軍などが江戸の近くに外出するときなどに

つか やしき しょうぐん たまがわ あゆりょう たかが たよ
使った屋敷)があり、将軍が多摩川で鮎漁や鷹狩りをするときに立ち寄ったといわれています。

しょうぐん た つく はたけ ごかでん
また、将軍が食べるためのマクワウリを作る畑(御瓜田)もありました。

むさしだい しょうわ
<武蔵台>・・・昭和36(1961)年11月1日生まれ

しな いちばんきた まち だいぶぶん むさしのだんきゅう むさしだいいせき やく
市内の一番北にあり、町の大部分が武蔵野段丘にあります。2丁目にある武蔵台遺跡は約

35,000年前の旧石器時代の遺跡です。この遺跡から東京では最古といわれる石器が出土して

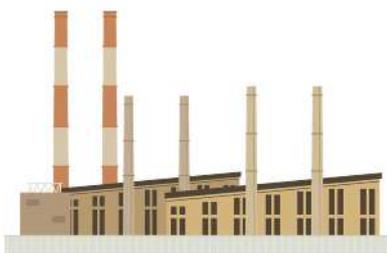
います。3丁目には市内で最も高い、標高

82メートルの場所があります。



なんと、浅間山より
高いんだよ!

とうしばちょう しょうわ
<東芝町>・・・昭和36(1961)年11月1日生まれ



とうしばちょう とうしば じぎょうしょ しきち とうきょう
東芝町は、そのほとんどが東芝府中事業所の敷地です。東京

しばうらでん き こうじょう しょうわ せつりつ にほん
芝浦電気府中工場として昭和15(1940)年に設立され、日本

せいこうしょ ふちゅう こうぎょう か すす
製鋼所とともに府中の工業化をはやくから進めてきました。

ぶばいちょう しょうわ
<分梅町>・・・昭和37(1962)年5月1日生まれ

ぶばいちょう たいへいき ゆうめい ものがたり で ぶばいがわら かつせん たたか ぶたい
分梅町は、『太平記』という有名な物語に出てくる分倍河原の合戦(戦い)の舞台になったと

ころです。江戸時代より前まで「分梅」は「分倍」とか「分配」とか書かれていましたが、江戸時

代には分梅と書かれるようになりました。1丁目にある光明院も、「梅花山」という別の名前があ

ります。むかしの分梅町辺りには、梅の木が多くあったのかもしれませんが。

や ざき ちよう しょう わ
< 矢崎町 > . . . 昭和37 (1962) 年 5 月 1 日 生まれ

や ざき なまえ たに さき い み げんざい まち な え ど し だ い ほんまち つく とくがわ ご てん げん
矢崎の名前は「谷の崎」の意味です。現在の町並みは、江戸時代に本町に作られた徳川御殿（現

ざい く に し せ き む さ し こ く ふ あと こくしのたち ち く こくしのたち い え や す ご てん し せ き ひ る ば かねづか これまさ あた
在の国史跡 武蔵国府跡 国司館地区（国司館と家康御殿史跡広場）や、金塚（是政6 丁目辺り）

お ちゃ や か い どう ゆ ら い きょう ど もりこうえん
までの「御茶屋街道」に由来します。5 丁目の郷土の森公園の

しゅうけい い け げ じ ゅん ちゅうじゅん ころ おお が
修景池では、6 月下旬から7 月中旬頃まで、大賀ハス

はな たの
をはじめとしたたくさんのハスの花を楽しむことができます。



みなみちよう しょう わ
< 南町 > . . . 昭和37 (1962) 年 5 月 1 日 生まれ

な みなみがわ まち がっこう きゅうしよく へいせい
その名のとおり府中市の南側にある町です。学校給食センターが平成29

し な い しょうちゅう がっこう ていきょう
(2017) 年まで3 丁目にあり、市内のほとんどの小中学校で提供される

きゅうしよく つく きょう ど もりはくぶつかん
給食を作っていました。6 丁目には府中市郷土の森博物館があります。



にっこうちよう しょう わ
< 日鋼町 > . . . 昭和37 (1962) 年 5 月 1 日 生まれ

にっこうちよう にほんせいこうしよ ばしよ ちようめい ゆらい しょう わ に
日鋼町は、日本製鋼所がこの場所にあったことが町名の由来です。昭和15 (1940) 年に日

ほんせいこうしよ む さ し せい さ く しよ かいせつ しょう わ とうきょうせいさくしよ なまえ か そうぎょう
本製鋼所武蔵製作所として開設し、昭和38 (1963) 年からは東京製作所に名前を変えて操業

せいさくしよ しょう わ へい さ あと ち
していました。製作所は昭和62 (1987) 年に閉鎖され、跡地は府中インテリジェントパークや

にっこうだん ち すがた か
日鋼団地などにその姿を変えました。

せんげんちよう しょう わ
< 浅間町 > . . . 昭和37 (1962) 年 11 月 1 日 生まれ

せんげんちよう なまえ せんげんやま ゆらい こうくう じ えい たい き ち び じ ゅつ かん しょうがいがくしゅう
浅間町の名前は、浅間山に由来します。航空自衛隊府中基地や府中市美術館、生涯学習セン

ばしよ だいに じ せい かい たい せん い ぜん りくぐん ねんりょう し せつ せん ごと あいだ
ターなどがある場所には、第二次世界大戦以前は陸軍の燃料施設があり、戦後からしばらくの間

へいぐん こうぐん し せつ
は米軍府中空軍施設がありました。

これまさ しょうわ
<是政>・・・昭和37(1962)年11月1日生まれ

い だ せつのかみこれまさ ひと の はら き ひら これまさ な まえ
井田撰津守是政という人が、野原だったところを切り開いたので「是政」と名前がつけました。

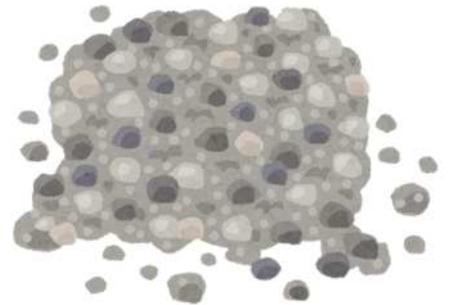
せいぶ た まがわせん これまさ えき たいしょう かいつう た まてつどう えき
5丁目にある西武多摩川線の「是政」駅は、大正6(1917)年に開通した多摩鉄道の駅として

たいしょう どうじ おも たまがわ ほ じゃり うんぱん
大正11(1922)年に開業しています。当時は、主に多摩川から掘った砂利を運搬してしまし

げんざい せいぶ た まがわせん ちいき じゅうよう こうつう き かん
た。現在は西武多摩川線として、この地域の重要な交通機関

なっています。4丁目にあるボートレース多摩川は、

じゃり ほ あな せいび かいじょう
砂利を掘ってできた穴を整備して開場しました。



おしたてちょう しょうわ
<押立町>・・・昭和38(1963)年5月1日生まれ

けいちょう だいこうずい たまがわ む がわ がわ むら わ げんざい いなぎし
慶長元(1596)年の大洪水で多摩川の向こう側と府中側に村が分かれたため、現在の稲城市

おしたて ちめい え どじだい はじ ころ あた おしたて よ
にも「押立」という地名があります。江戸時代の初め頃にはこの辺りは「押立」と呼ばれていて、

ちょうめい え どじだい なかごろ むら だいひょうしゃ がわさきへいえ もんさだたか せわ
そのまま町名になりました。江戸時代の中頃、この村の代表者だった川崎平右衛門定孝は、世話

やく あ た よ ひとびと く
役となって荒れた田んぼを良くし、人々の暮らしに

やくだ だいかん
役立ったことで代官になりました。

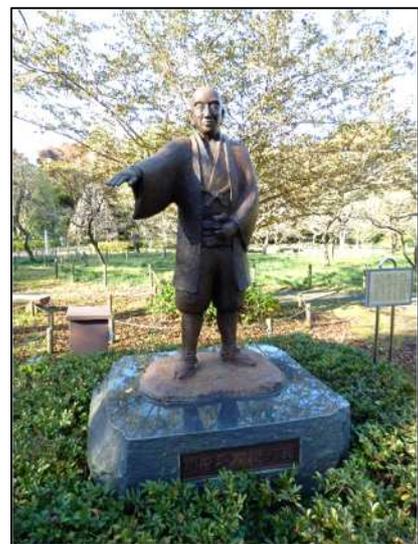
りゅうこうじ へいえ もん はか しょうわ
4丁目の龍光寺にある平右衛門の墓は、昭和12

とうきょうと ぶんかざい きゅうせき してい
(1937)年に東京都の文化財(旧跡)に指定され

ほんぞん あみだにらいぞう しょうわ
ています。また、本尊である阿弥陀如来像は昭和39

ゆうけいぶん かざい ちょうこく してい
(1964)年に府中市の有形文化財(彫刻)に指定

されています。



かわさきへいえ もん おきなぞう きょうど もりはくぶつかん
<川崎平右衛門翁像(郷土の森博物館)>

こやなぎちょう しょうわ
<小柳町>・・・昭和39(1964)年5月1日生まれ

えどじだい おだぶんむら しんべんむさし ぶ ど きこう ほん たはた おな ひろ
江戸時代には小田分村があったところです。『新編武蔵風土記稿』という本には田畑が同じ広さ

わ みんか けん か きゅうちめい おだぶん つねひさ こあざ やなぎ
に分かれていて、民家が15軒あったと書かれています。旧地名の「小田分」と常久の小字「柳

はら もじ こやなぎちょう なづ
原」の文字をとって小柳町と名付けられました。

わかまつちょう しょうわ
<若松町>・・・昭和39(1964)年9月1日生まれ

せんげんやま ひょうこう あた ちしつ たまきゅうりょう さんち ひく
5丁目の浅間山は、標高79.6メートルあります。この辺りの地質は多摩丘陵(山地よりも低

へいち たか ちけい おな しゅるい ふる かせん けず おか とりつせんげんやまこうえん
く、平地よりも高い地形)と同じ種類で、古い河川に削られて丘になりました。都立浅間山公園は

しょうわ かいえん こうえんない しぜん は
昭和45(1970)年に開園しました。公園内に自然に生えているムサシノキスゲは、ここだけに

は こゆう しょくぶつ せんげんやましゅうへん
生えている固有の植物です。浅間山周辺では

しょうへい あしかがたかうじ につ たよしおき
正平7(1352)年に足利尊氏と新田義興・

よしむねきょうだい たたか たたか
義宗兄弟との戦いがありました。この戦い

おも ばしょ ひとみはら こせんじょうあと
があったと思われる場所は、人見原古戦場跡

しょうわ とうきょうと ぶんか
として昭和30(1955)年に東京都の文化

ざい きゅうせき してい
財(旧跡)に指定されています。



せんげんやまこうえん
<浅間山公園のムサシノキスゲ>

しらいとだい しょうわ
<白糸台>・・・昭和39(1964)年9月1日生まれ

あた きいと いと せたがや きぬた
むかし、この辺りでは「まゆ」から生糸をつむいでいました。糸は世田谷の砧というところで

しらいとだい もど そ はちおうじ おりや お もの こくふ おさ
さらしたあと、白糸台に戻して染め、八王子の織屋が織った物を国府に納めたといわれています。

ちめい ゆらい ほんがんじ なが れきし も じしゃ かみそめや
地名はこのことに由来します。また、5丁目の本願寺をはじめ長い歴史を持つ寺社があり、上染屋

はちまんじんしゃ かんり どうぞうあみだによらいりゅうぞう しょうわ くに じゅうようぶんかざい してい
八幡神社が管理する銅像阿弥陀如来立像は昭和3(1928)年に国の重要文化財に指定されて

います。

すみよしちょう しょうわ
<住吉町>・・・昭和40(1965)年5月1日生まれ

おお かわ ちか みず かみさま すみよしじんじゃ まつ
大きな川の近くには、水の神様として住吉神社が祀ら



た ま が わ
<多摩川>

れるということで、この名前をとって住吉町に決定され

ました。近くを流れる多摩川は、むかしは現在よりも北側

を流れていて、浅川が現在の多摩川流域を流れていまし

た。この辺りはこの二つの川の間 に挟まれていたため、

え ど じ だ い な が わ ら む ら よ
江戸時代は中河原村と呼ばれていました。

よつ や しょうわ
<四谷>・・・昭和40(1965)年5月1日生まれ

え ど じ だ い あ た よ つ や む ら よ よ つ や か ぶ ん し ょ の こ
江戸時代、この辺りは四ツ谷村と呼ばれていて、「四ツ屋」と書かれた文書もたくさん残ってい

ます。「四ツ屋」とは、4軒の家が最初に移住してきたため、これが四ツ谷村の始まりだといわ

れています。町名を決める時、町名に「町」の字をつけないでほしいと住民が希望したので「四

谷」となったそうです。

にっしんちょう しょうわ
<日新町>・・・昭和40(1965)年11月1日生まれ

え ど じ だ い ほんしゆくむら よ つ や む ら ぶく すいでん なしばたけ しょう
江戸時代には本宿村と四ツ谷村に含まれていて、水田や梨畑などがたくさんありました。昭

和39(1964)年、1丁目に日本電気株式会社(NEC)府中事業所が開設され、昭和44(1969)

年に現在の府中事業場に名前を変えています。現在の旧甲州街道より古い甲州街道がこの町

を通過していたようで、1丁目に一里塚(一里ごとに街道の脇に作られた塚のこと。一里は約4キロ

メートル)がありました。現在は記念碑がNEC府中事業場内に建てられていて、昭和59(1984)

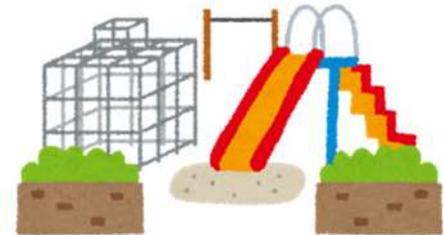
年に府中市の文化財(史跡)に指定されています。

きたやまちょう しょうわ
<北山町>・・・昭和40(1965)年11月1日生まれ

むかし、この辺りの人たちはこの地域のことを「北山」と呼んでいました。これが現在の町の名前の由来です。近くには「白明坂」があります。元弘3(1333)年に新田義貞と北条泰家が戦ったとき、義貞軍が分倍河原に攻め込もうとしたところ、ここで夜が明けてしまったことが名前の由来といわれています。この「白明坂」の別名がつけられた公園、「見返り坂公園」が4丁目にあります。

にしはらちょう しょうわ
<西原町>・・・昭和41(1966)年5月1日生まれ

以前この辺りには東西に通じる道がありませんでしたが、富士見通りができたことで、この町が作られることになりました。4丁目には、「大道北」というむかしの地名がつけられた公園があります。



にしふちょう しょうわ
<西府町>・・・昭和41(1966)年5月1日生まれ

むかし、府中市の西側は本宿、四ツ谷、中河原の3つの村がありました。明治22(1888)年にこの3つの村がまとまって西府村ができました。府中の西にあるのでこの名前になったといわれています。その後、町名を西府として、この名前を残すことになったようです。

2丁目にある府中熊野神社では、国内最古の上円下方墳が発見されました。この古墳は国史跡武蔵府中熊野神社古墳として平成17(2005)年に国の史跡に指定され、平成30



むさし ぶ ちゅうくまの じんじゃ こふん
<武蔵府中熊野神社古墳>

(2018)年に追加指定されています。



し よ ほん もっと知りたくなったら読む本のリスト

しよめい ほん なまえ 書名(本の名前)	ちよしゃ ほん か ひと 著者(本を書いた人)	しゅっぱんねん 出版年	ほん せ 本の背ラベル
きょうど ふちゅう 郷土府中	ふちゅう しりつちゅうがっこうしゃかい か ふくどくほんへんしゅう 府中市立中学校社会科副読本編集 いんかい へん 委員会 / 編		F21/キ
ふちゅう れきし わたし 府中の歴史と私たち	ば ば はるこ ちよ 馬場 治子 / 著	1987	F21/ハ*
ふちゅう ふどし だい ほん 府中の風土誌 第7版	とうきょうと ふちゅうし はっこう 東京都府中市 / 発行	1981	F21/フ
むさし ふちゅうそうしょ 5 ふちゅうし ちようめいちばん 武蔵府中叢書 5 府中市の町名地番	ふちゅうし きかくちようせいぶ へん 府中市企画調整部 / 編	1977	F213/10/ム
いしづみ ぞうし いしづみ草紙	ぶんか ぶぶんか しんこうか へん 文化スポーツ部文化振興課 / 編	2010	F29/イ
ふちゅうガイド	ふちゅうし せいさくそうむ ぶこうほうか へん 府中市政策総務部広報課 / 編	2011	F29/フ
わたしたちの府中	ふちゅうし りつしょうがっこうしゃかい か ふくどくほんへんしゅう 府中市立小学校社会科副読本編集 いんかい へん 委員会 / 編		F29/ワ
ふるさと府中文化財めぐり	ふちゅうし きょうど もりはくぶつかん へん 府中市郷土の森博物館 / 編	2007	F291.3/10/フ
グラフ府中 第7号	ふちゅうし きかくちようせいぶ こうほうか へん 府中市企画調整部広報課 / 編	1974	F318.5/10/ク*
グラフ府中 第8号	ふちゅうし きかくちようせいぶ こうほうか へん 府中市企画調整部広報課 / 編	1974	F318.5/10/ク*
グラフ府中 第9号	ふちゅうし きかくちようせいぶ こうほうか へん 府中市企画調整部広報課 / 編	1975	F318.5/10/ク*

さがしているほんがみつからないときは、
としょかん ひと
図書館の人にきいてみましょう。



「府中の町紹介」 こども府中はかせ No.2
2012年12月発行
2025年3月改訂
府中市立図書館 編集・発行
府中観光協会・府中市郷土の森博物館 協力
<https://library.city.fuchu.tokyo.jp/>

